

第1 少年非行の概況

1 概況

- 令和7年中に岐阜県警察が検挙・補導した非行少年の数は510人で、前年に比べ64人(11.1%)減少した。
 - ・ 刑法犯少年は432人で、前年に比べ67人(13.4%)減少した。
 - ・ 特別法犯少年は74人で、前年に比べ3人(4.2%)増加した。
 - ・ ぐ犯少年は4人で、前年と同数であった。
- 令和7年中に岐阜県警察が補導した不良行為少年は10,126人で、前年に比べ248人(2.4%)減少した。

非行少年及び不良行為少年の検挙・補導状況

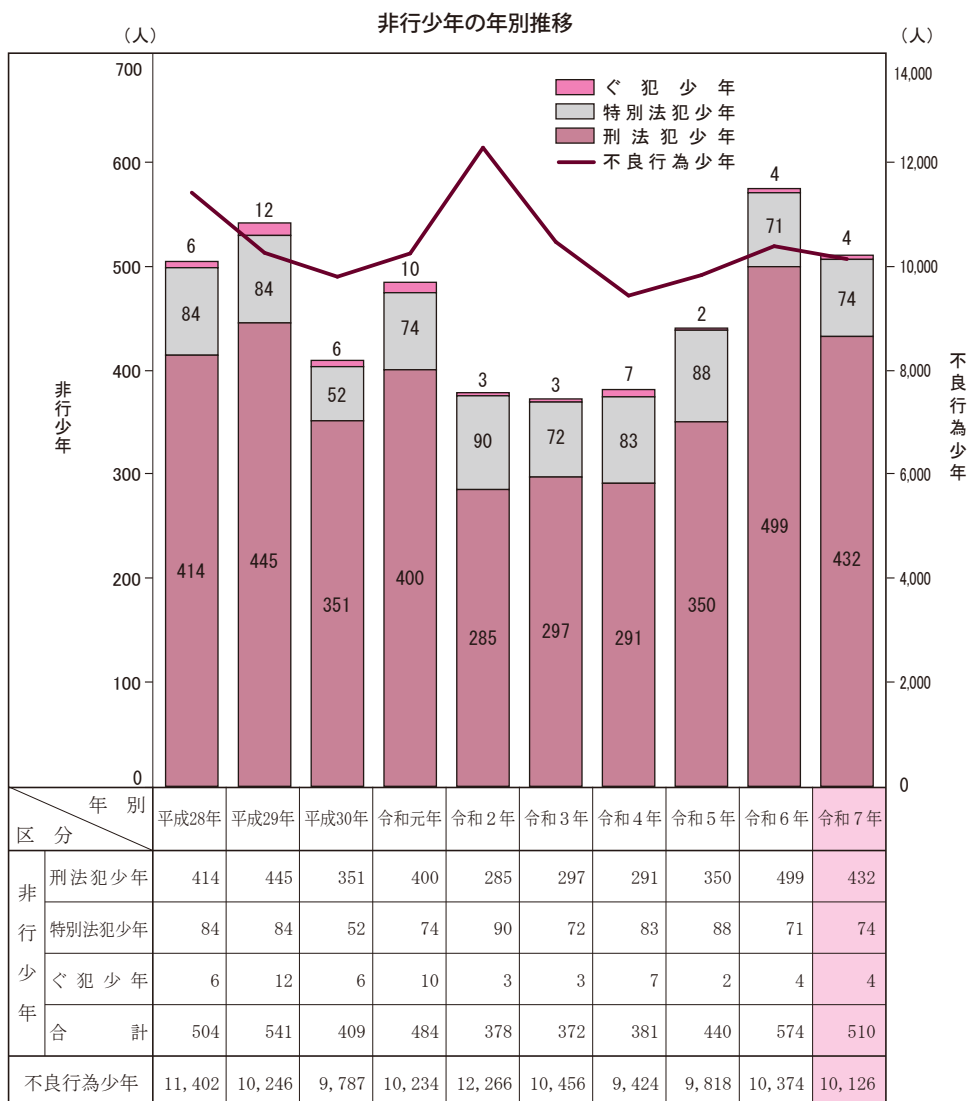
(人)

区分			年別	令和7年	令和6年	前年対比(増減)	
						人員	比率(%)
非 行 少 年	刑 法 犯 少 年	犯罪少年	299	374	▲ 75	▲ 20.1	
		触法少年	133	125	8	6.4	
		小計	432	499	▲ 67	▲ 13.4	
	特 別 法 犯 少 年	犯罪少年	69	61	8	13.1	
		触法少年	5	10	▲ 5	▲ 50.0	
		小計	74	71	3	4.2	
	ぐ犯少年	4	4	0	0.0		
	合計		510	574	▲ 64	▲ 11.1	
	不良行為少年			10,126	10,374	▲ 248	▲ 2.4

(注) ▲印は、減少を示す。

2 非行少年の年別推移(過去10年)

- 非行少年の検挙・補導人員は令和4年以降増加していたが、令和7年は減少に転じた。
- 令和7年の非行少年の検挙・補導人員は過去10年間に於いて3番目に多い。



3 特徴的傾向

(1) 刑法犯少年

- 刑法犯少年は432人で、前年比67人（13.4%）減少。
- 成人を含めた全凶悪犯中に占める少年の割合は9.9%（8人）、全粗暴犯中に占める少年の割合は8.2%（72人）、全窃盗犯中に占める少年の割合は19.5%（285人）。
- 触法少年は133人で、前年比8人（6.4%）増加。
- すべての罪種で減少。
- 刑法犯少年の66.0%が窃盗犯。
- 初発型非行（万引き、自転車盗、オートバイ盗、占有離脱物横領）は240人と、前年比14人減少し、刑法犯少年の55.6%を占めている。
- 学職別では中学・高校生が60.6%（262人）を占める一方、小学生は13.4%（58人）を占め、10年連続で10%を超えた。

(2) 特別法犯少年

- 特別法犯少年は74人で、前年比3人（4.2%）増加。
- 薬物乱用少年は20人で、前年比8人（66.7%）増加。

(3) ぐ犯少年

- ぐ犯少年は4人で、前年と同数であった。

(4) 不良行為少年

- 不良行為少年は10,126人で、前年比248人（2.4%）減少。
- 行為種別の補導人員は、喫煙が4,489人（44.3%）、次いで深夜はいかいが3,753人（37.1%）であり、両行為で全体の81.4%を占めている。